

フォールコーン液性限界試験器

本装置は 2000 年に確定した(JGS 0142-2000)フォールコーンを用いた土の液性限界試験方法に準拠した測定器です。JIS A 1205 での測定方法では、試験の操作に熟練を要することから試験結果に個人差が生じる事など多くの問題が指摘され、フォールコーンを用いた試験方法が基準化されました。コーンの自由落下による貫入量と土の含水比の関係から液性限界を求めるこの方法は“**操作が簡単で試験結果に個人差が生じることが少ない**”ことから多くの研究・試験機関で採用されています。

自動貫入停止式 DH-22NA



特徴:

DH-22NA 及び DH-22NM の基本仕様は同じですが、DH-22NA は、貫入スイッチを押すだけで5秒後に自動貫入停止となり、測定に個人差が生じません。又、DH-22NM は貫入停止をリリース停止式とした手動操作で貫入を停止するものです。何れの試験器とも、貫入量の測定に非接触式レーザー変位計を利用する仕様への変更が可能です。(測定範囲:±40mm,分解能:10 μ mm,出力電圧:DC ±4V)

リリース停止式 DH-22NM



主な仕様

コーン:先端角度 60°、貫入体重量 60g
(オプションで 90° コーン、40g 分銅)
試料容器:φ65×32.5mm、材質 デルリン
貫入量計測:ダイヤルゲージによる同時計測
精度 1/10mm 30mm
落下機構:
DH-22NA; 押しボタンスイッチ式
(AC100V が必要)
DH-22NM; リリース解放・停止式
支持装置:コーンホルダー高さ調節式
一本支柱型
容器上下微調整および水準器付
付属品:スパチュラ、ゴムへら、収納箱



株式会社

誠 研 舎

〒110-0015 東京都台東区東上野 1-28-5

TEL.03-3834-4201 (代) FAX.03-3834-0825

URL <http://www.seikensha.com> E-mail: sks@seikensha.com